

ドアホン子機(CT155A10)交換方法

◆用意するもの(工具など)

プラスドライバー、マイナスドライバー

◆交換方法 (サインポストHS型を例に交換方法を説明しています。)



ドアホン子器
(CT155A10にはインターホンパ
ネルは含んでおりません)



①インターホンパネルのねじ2本を外す。



②表札板のねじ2本を外す。(HS型の場合)



③表札板をポストから取り外す(HS型の場合)



④インターホンパネルの側面から手を添えてをインターホンパネルをポストから引き出し、信号線配線(2本又は3本)を外す。



⑤インターホンパネルからドアホン子器を外す。(銀色のねじ4本で固定されています。)



⑥インターホンパネルからドアホン子器を外した状態です。



⑦インターホンパネルとドアホン子器を分離した状態です



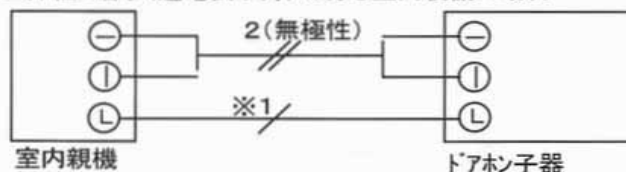
⑧インターホンパネルに新しいドアホン子器を取付け、下記配線方法に従い、信号線を配線する

⑨取り外した逆の順序で組立てる

注)HS型を事例に説明しておりますが、他の機種でもインターホンパネルの形状・寸法が異なるだけで基本的な固定方法は同様です。

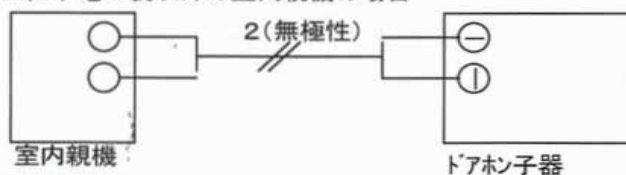
◆配線方法

■弊社L端子(通電表示灯)のある室内親機の場合



※1は結線しなくても通話は可能です。また、設置時から配線されていない場合もございますのでご了承ください。

■松下電工製以外の室内親機の場合



※ドアホン子器押しボタン部の通電表示灯は点灯しませんので、ご了承ください。

◆ご注意

- ①取り外したねじをなくさないよう、ご注意ください。
- ②3線の場合は配線を外す際、L端子に接続された線の色を覚えておいて下さい。